

特集

未来技術を活用した
次世代型のまちづくり

自動運転バス 3月運行開始へ!

市では、北陸新幹線小松駅と小松空港との間をスマートに接続し「レール&フライト」の拡大と街中への人の流れの創出に向けて、自動運転バスの導入に取り組んできました。3月の路線バス運行開始を控え、車両や性能、運賃などを紹介します。

問い合わせ 地域振興課 ☎24・8396



ワクワク!

車内で自動運転のシステム画面を見ることができる!



気になる運行路線

走行距離 片道4.4km
バス停 小松駅、小松空港(途中停留所なしの快速便)
運賃 大人280円、子供140円(交通系ICカード対応)
運行開始 3月上旬(予定)
 ※運行開始日やダイヤ情報など、詳細は決まり次第市ホームページでお知らせします。



先進技術を詰め込んだ車両

車両 ティアフォー製自動運転EVバス「Minibus」
動力 環境にやさしい電気自動車
定員 25人 ※当面は着席のみの16人で運用
最高速度 自動運転時は35km/hで走行
センサー LiDAR、RADAR、IMU、GNSS、物体認識用カメラなど計32基搭載
自動運転ソフト Autoware(国産の自動運転OS)
※AutowareはThe Autoware Foundationの登録商標です。

教えて!



自動運転 バスのこと

Q どうやって自動で走るの?

A. 高精度3次元地図と高性能センサーにより位置を推定し、システムが進行経路を判断してハンドル・アクセル・ブレーキをドライバーに代わって操作します。

Q 運転手は乗っているの?

A. 当面は運転手が乗車し、必要に応じて手動で操作します。今後、運転手なしの走行に向けた試験を進め、公共交通としての安全・安心な運行方法についても検討を行っていきます。

Q 安全性は?

A. 車両のセンサーが、前方100m、横70m以内の人、自転車、車、道路環境を常に認識します。人間を超えるレベルの安全確認を常時行い、危険な場合は速やかに減速・停止します。
また、安全な運行のために急な車線変更や路上駐車をしないなど、交通ルール順守にご協力ください。



主要なセンサーであるLiDAR。レーザーを照射して、対象物までの距離や性質を調べます。

お知らせ

お披露目式を 開催します

3/3日 13時から

ところ サイエンスヒルズこまつ
内容 自動運転バスの紹介、セレモニー、試乗会など
対象 どなたでも※小学生以下は保護者同伴
定員 100人(応募多数の場合は抽選)
申し込み 2月15日(木)までにこまつ電子申請サービスから

参加
無料

